



報道関係各位

2014年8月13日

## ハンファQセルズ、2014 年度末までに生産設備を 1.5 GW まで拡大予定

- 2014 年上半期でのモジュール出荷量 539MW に到達し、欧州メーカーでトップに
- モジュール生産規模拡大の布石は、“マレーシア工場での製造ライン増設”と“生産オペレーション改革”

ハンファQセルズ（本社：ドイツ・ビッターフェルド、CEO：キム・チャールズ、以下Qセルズ）は、欧州時間 2014 年 8 月 7 日に、2014 年度上半期（1 月～6 月）の業績発表を行い、2014 年上半期（2014 年 1 月～6 月）において、欧州の太陽光モジュールで最大規模となる出荷量 539 メガワットを達成したことを発表いたしました。前年度比(2013 年上半期/320 メガワット比) 68%増におよぶこの実績を踏まえ、CEOのキムは、「上半期の出荷量は、高品質の太陽光モジュール製品の世界的な需要が高まりつつある中で、我々は今後さらに国際規模で生産能力の拡大に努めてまいります。」と述べました。

また 2014 年度生産能力最大 1.5 ギガワットを達成する為の生産能力拡大計画の一端を明らかにしました。モジュール生産規模拡大の二大施策として、Qセルズが打ち出しているのは、“マレーシア工場での製造ライン増設”と“生産オペレーション改革”です。

### マレーシア工場での製造ライン増設について

Qセルズは、マレーシアの自社工場に、新たに生産量 204 メガワット規模の高性能太陽光セル製造ラインを増設いたしました。この生産ラインは、Qセルズの主力商品である太陽光セルの大量生産を可能にする為の計画として 2014 年 1 月に建設実施が発表され、2014 年の 6 月末に完成いたしました。既に、製造ラインは稼働を開始しており、現在フル稼働に向けてラインを強化中です。今回の製造ライン増設に伴い、Qセルズのマレーシア工場でのトータル生産規模は現在 1.1 ギガワットに達しています。

### 生産オペレーション改革

今回の製造ライン増設に加え、Qセルズは、二大生産拠点であるドイツとマレーシアでの自社工場におけるモジュール生産効率拡大の為のオペレーション改革を実施いたします。このオペレーション改革は、ドイツとマレーシアそれぞれの現場チームの密な協力により、生産時間の短縮方法やオペレーション効率のための施策が話し合われ改善プランとして完成したものです。これにより、モジュール製造プロセスが大幅に改良し、より高品質な太陽光パネルを増産できる生産体制に移行する予定です。

Qセルズは、今後も成長の為の企業努力を継続し、Qセルズが誇る高品質の太陽光モジュールおよびソリューションを求める世界中のお客さまのニーズに迅速にお応えしていきたいと考えております。

### 報道関係お問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社

広報担当：小林美砂

TEL 03-5441-5928

EMAIL [info@hqj.co.jp](mailto:info@hqj.co.jp)



### 【ハンファQセルズについて】

- 本社所在地：ドイツ サクソニーアンハルト州、ビッターフェルド
- 設立：1999年
- グローバル販売拠点：イタリア、スペイン、オーストラリア、中国、インド、日本、米国
- 事業内容：単結晶、多結晶シリコン太陽電池製造、結晶、薄膜太陽電池モジュール製造、中大規模発電システムの企画、開発
- 企業沿革
  - 1999年 Q-cells S.E.として創業
  - 2002年 業界をリードする単結晶6インチセルをヨーロッパで初めて生産。
  - 2003年 多結晶6インチセルをヨーロッパで初めて生産。
  - 2006年 セルの生産量でヨーロッパ第1位。
  - 2008年 セルの生産量で2年連続、世界第1位。
  - 2009年 太陽光発電のシステムインテグレータとして世界第1位となる。
  - 2012年 ハンファグループの傘下に入りハンファQセルズとなる。
  - 2014年 第1四半期ヨーロッパメーカーで出荷量第1位。

### 【ハンファQセルズジャパン株式会社について】

- 所在地：東京都港区芝四丁目10番1号 ハンファビル9階
- URL：[www.q-cells.jp](http://www.q-cells.jp)
- 設立：1984年2月
- 資本金：26億9,850万円
- 代表者：代表取締役社長 金 鍾瑞(キム ジョンソ)
- 事業内容：太陽光モジュールの輸入・販売、太陽光発電システム販売事業、太陽光発電事業、その他太陽光発電業務に関する事業など